



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部長 (氏名) 遊上 利之 TEL 06-6376-8088
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,066	△28.1	181	△61.2	425	△31.7	222	△54.3
2020年3月期第2四半期	23,743	3.0	466	10.8	621	△3.1	487	35.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 209百万円 (△42.6%) 2020年3月期第2四半期 364百万円 (7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.99	—
2020年3月期第2四半期	51.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,219	20,813	60.8
2020年3月期	35,564	21,192	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,808百万円 2020年3月期 21,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	38.00	55.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△13.5	730	△22.7	1,230	△1.2	740	△42.0	78.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,025,032株	2020年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,825,354株	2020年3月期	1,615,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	9,289,678株	2020年3月期2Q	9,397,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前期に発生した新型コロナウイルスの感染症収束が見通せない中、自粛が継続されていた外食・レジャー・旅行関連等のさまざまな経済支援策が実施されはじめ、国内企業の経済活動が少しずつ再開されはじめました。しかしながら、欧米をはじめ依然として感染拡大の傾向が続き、将来の見通しについては未だに不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましても外出自粛による影響は受けましたが、「withコロナ」での食生活に関わる変化を吸収しつつ、「食に対する安心、安全」へのこだわりを念頭に、多様化するお客様のニーズに応えるべく新商品の開発と、新規店舗物件の獲得に取り組み、一方で新しい販路や事業の開拓による利益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高170億66百万円（前年同四半期比28.1%減）、営業利益1億81百万円（同61.2%減）、経常利益4億25百万円（同31.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億22百万円（同54.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

7月はほっかほっか亭看板商品のひとつ、「唐揚げ」をリニューアルいたしました。塩麴に漬け込み柔らかくジュシーでクリスピーな衣へ変更し、同時に唐揚げを中心としたキャンペーンを展開いたしました。アプリでは唐揚げをお試して1コプレゼント、SNSではインスタントウィンによる唐揚げ弁当プレゼント、楽天ポイントでは唐揚げ10コ分の楽天ポイントをプレゼントするなどライトユーザーからコアユーザーまで幅広くリーチ出来るよう告知を展開いたしました。8月にはカレーを「特製カレー」へとリニューアルいたしました。自分好みにアレンジができるよう9種類ものトッピングメニューを導入いたしました。また、お子様向けのお弁当「すみっこぐらしべんと」やオードブルの購入を対象に「夏のすみっこぐらしキャンペーン」と題したオリジナルすみっこぐらしマグカップをプレゼントするキャンペーンを実施し、たくさんの反響をいただきました。季節が変わり、9月には秋の定番商品、風味香る「松茸弁当」を発売、中旬には「なす味噌弁当」の発売とお弁当店としてお客様を飽きさせない商品を連続して投入いたしました。

持ち帰り弁当事業は、売上高80億34百万円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益4億97百万円（同1.1%増）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、第1四半期に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、飲食店を中心とする委託店舗の売上高が減少いたしました。4月～5月のような大きな売上減少は回避されましたが、通常状態に比べその影響は依然大きい状況にあります。同影響を抑制するため、第1四半期に引き続き、各委託店舗及びビルオーナーとの緊密な連携による空室の抑制と低採算店舗の入替による物件稼働率の向上により、事業の安定化を図ってまいりました。また、従来からの取り組みである自社運営Webメディア「店通（てんつう）」を通じた店舗業界への情報発信による当社ブランドの浸透と合わせてサービス向上への取組みを継続してまいりました。更に、当社のコーポレートサイトを一新し、スマートフォンからのアクセスを向上することで、お客様への訴求力の向上に努めてまいりました。

店舗委託事業は、売上高70億73百万円（前年同四半期比44.3%減）、営業利益4億36百万円（同0.7%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、新型コロナウイルスによる物件の稼働休止、関連収益機会の減少などの影響を受けましたが、かかる状況下においても、ビルオーナーと緊密な連携を更に充実させて、資産価値を向上するための運用提案、ビルの管理関連サービスの積極的な展開、様々な業態のテナントオーナー向けのサブリースの拡大などを確実に実施してまいりました。なお、前連結会計年度末の保有物件売却の影響により前年対比の営業利益が減少しておりますが、当連結会計年度に2棟の商業ビル購入に加え3つ目のTRUNKシリーズビルの竣工により収益の拡大を図っております。

店舗管理事業は、売上高3億56百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益1億3百万円（同43.8%減）となりました。

④物流食品加工事業

物流食品加工事業においては、物流・商流ともに全国規模の営業活動を展開し、着実に成果を上げています。また、カミッサリー拡張工事も順調に進み年内の完工を見込んでおり、第2カミッサリーの稼働開始を見据えた、新商品の開発や取引先の新規開拓への取り組みも強化しております。今後も、FSSC22000の確固たる食品安全基準を維持し、お客様への安心安全の提供に注力してまいります。

物流食品加工事業は、売上高11億23百万円（前年同四半期比18.9%減）、営業利益53百万円（同41.2%増）となりました。

⑤その他

フレッシュベーカーリー事業においては、「パインデニッシュ」「ラズベリーデニッシュ」をはじめとするフルーツを使用した商品の発売や「栗あんぱん」「ラムレーズン」などアイテムの充実を図りご好評をいただきました。工場内では作業工程の見直しを行い、経費の削減・品質向上・販売強化に努めてまいりました。

また、仕出し事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い多くのお取引先様が自粛を行い、葬儀仕出し・ケータリングパーティともに売上高は低調に推移する中、新たな試みとして、「MEGURO DELI」ブランドを立ち上げて、新メニュー開発に取り組み、商業施設における催事展開にてご好評をいただきました。

その他の事業は、売上高4億78百万円（前年同四半期比23.3%減）、営業損失2億59百万円（前年同四半期は営業損失22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は342億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億44百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債合計は134億6百万円となり前連結会計年度末に比べ9億64百万円減少しました。これは主に未払金、未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産は208億13百万円となり前連結会計年度末に比べ3億79百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ20億2百万円減少して55億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は4億86百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額4億90百万円、前受収益の減少額3億51百万円、未払金の減少額3億2百万円、税金等調整前四半期純利益3億82百万円、減価償却費4億29百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は11億55百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億6百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億77百万円となりました。これは主に、配当金の支払額3億57百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年6月2日の「2021年3月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,597	5,534
受取手形及び売掛金	1,299	1,182
商品及び製品	525	608
原材料及び貯蔵品	114	78
その他	1,036	1,102
貸倒引当金	△19	△22
流動資産合計	10,555	8,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,426	6,046
機械装置及び運搬具（純額）	445	487
工具、器具及び備品（純額）	277	245
土地	9,186	9,671
リース資産（純額）	38	30
建設仮勘定	156	73
有形固定資産合計	15,530	16,553
無形固定資産		
借地権	526	523
その他	124	131
無形固定資産合計	651	655
投資その他の資産		
投資有価証券	1,948	1,944
長期貸付金	12	11
敷金及び保証金	5,843	5,700
繰延税金資産	618	574
長期未収入金	537	536
その他	413	306
貸倒引当金	△545	△547
投資その他の資産合計	8,827	8,527
固定資産合計	25,009	25,736
資産合計	35,564	34,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728	1,816
短期借入金	319	95
1年内返済予定の長期借入金	1,015	899
未払金	853	551
未払法人税等	405	130
未払消費税等	135	51
賞与引当金	200	185
その他	1,956	1,461
流動負債合計	6,615	5,192
固定負債		
長期借入金	2,772	3,362
長期預り保証金	3,950	3,880
繰延税金負債	120	119
退職給付に係る負債	62	64
資産除去債務	466	456
その他	383	330
固定負債合計	7,755	8,214
負債合計	14,371	13,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,971	3,971
利益剰余金	15,659	15,524
自己株式	△2,269	△2,501
株主資本合計	21,397	21,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△209	△222
その他の包括利益累計額合計	△209	△222
新株予約権	4	4
非支配株主持分	—	—
純資産合計	21,192	20,813
負債純資産合計	35,564	34,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	23,743	17,066
売上原価	18,595	12,251
売上総利益	5,148	4,814
販売費及び一般管理費	4,681	4,633
営業利益	466	181
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	14
受取賃貸料	84	98
業務委託契約解約益	58	67
持分法による投資利益	11	11
その他	62	115
営業外収益合計	233	308
営業外費用		
支払利息	10	8
賃貸費用	40	33
業務委託契約解約損	—	7
その他	27	15
営業外費用合計	78	64
経常利益	621	425
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	32	—
その他	3	0
特別利益合計	36	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	17	33
減損損失	0	—
リース解約損	—	8
特別損失合計	18	42
税金等調整前四半期純利益	639	382
法人税、住民税及び事業税	147	116
法人税等調整額	4	42
法人税等合計	152	159
四半期純利益	487	222
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	487	222

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	487	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△123	△13
四半期包括利益	364	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364	209
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	639	382
減価償却費	442	429
のれん償却額	2	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
固定資産除却損	17	33
減損損失	0	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	△15
受取利息及び受取配当金	△17	△15
支払利息	10	8
持分法による投資損益 (△は益)	△11	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	18	116
たな卸資産の増減額 (△は増加)	76	△46
仕入債務の増減額 (△は減少)	△158	87
前受収益の増減額 (△は減少)	△12	△351
未払金の増減額 (△は減少)	△98	△302
未払費用の増減額 (△は減少)	30	△135
未払消費税等の増減額 (△は減少)	82	△83
その他	84	△156
小計	1,091	△51
法人税等の支払額	△182	△490
法人税等の還付額	107	55
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016	△486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	18	15
有形固定資産の取得による支出	△602	△1,406
有形固定資産の売却による収入	346	51
無形固定資産の取得による支出	△52	△30
差入保証金の純増減額 (△は増加)	63	67
その他	△55	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282	△1,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△10	△8
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△23	△223
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△455	△326
自己株式の取得による支出	—	△232
配当金の支払額	△169	△357
その他	△15	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△674	△377
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59	△2,020
現金及び現金同等物の期首残高	6,556	7,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,616	5,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。